



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2003.9.22 No. 27 - 03

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会

〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274

民間航空の安全性向上と

乗員の人権確保、労働条件の維持・向上を目指し
また空の安全を脅かす

民間航空の軍事利用を阻止するため

日乗連第 27 期は以下の運動方針のもと

精一杯がんばります！

加盟組合の皆様の更なるご協力をお願いします。

9月16日・17日に開催された日乗連第27期定例総会において、第26期総括・決算ならびに第27期運動方針・予算が満場一致で採択されました。

日乗連は旧ALPA-Jと統合し新生ALPA Japanとなって約2年が経過しました。その後JEX乗組、ADK乗組、HAC乗組、A-Net乗組等が加盟し16組合・団体（総数約5200名）の大きな組織になりました。さらに日乗連の議長代行の安藤氏がIFALPAの本部役員（Principal Officer）に選出されるなど国内でも国際的にも私たちの活動が注目・期待されています。

今期も日航706便事故機長の裁判闘争、空の安全を脅かす民間航空の軍事利用問題、企業再編に関わる諸問題、航空機関士の職場確保等々重要な課題が山積しています。

日乗連は、加盟組合の皆さんが動かす組織です。民間航空の安全性の維持・向上と乗員の人権確保・労働条件の向上を目指してがんばりましょう。



日乗連第 27 期 運動方針

1. 日本を代表する乗員組織として、活動の規範となる日乗連 POLICY（政策的要求）を策定し、それを実現させるべく運動を進めます。
2. 日航 706 便事故機長の裁判に勝利するために、国内だけでなく海外にも運動を広げ徹底的に闘います。
3. 航空事故と刑事責任のあり方について、再発防止の観点が必要であることを利用者・国民に広げる運動を展開します。
4. 航空事故や異常運航に遭遇した乗員に対する不当な処分に反対し、乗員としての人権を守るために徹底的に闘います。
5. 航空事故絶滅を目指し、職場単位での事故調査能力を高めます。
6. ハイジャック、機内不法行為防止など航空保安確立のための運動を進めます。
7. 国際民間航空条約・IFALPA POLICY に基づき、空の安全を脅かす民間航空の軍事利用を阻止する運動を展開します。
8. 航空の安全を支える観点から、合法的で合理性のある、また健康で働き続けられる統一的労働条件基準策定を目指します。
9. 運航安全の最終責任者としての運航乗務員の社会的な地位、および生活の向上を目指します。
10. 地域航空、小型機航空の乗員の労働条件向上、ならびに権利獲得の為の運動、支援をさらに強化します。
11. 航空安全の安定的な向上を図れる、健全な乗員計画の実現を目指します。
12. 航空企業の再編が進められる中、企業や組合の枠を越えた運動を構築、強化するとともに組織のあり方について研究します。
13. 安全な航空産業を実現し、また航空産業の公益性を守り、経営と行政の健全な発展のための航空政策を求めます。
14. すべての航空機関士が乗務職として定年を迎えられるよう、操縦士への職種変更訓練の実施と、企業の枠を越えた航空機関士としての職場確保を目指します。
15. 新生日乗連としてのこれまでの活動を振り返り、より効率的で民主的な会議体とするため、企画会議や幹事会の規模・運営方法等を見直し、委員会を中心とした活動を行うこと等を含め検討・実施します。
16. 日乗連未加盟の乗員組合（団体）に、加入・連帯強化を求め、いっそうの組織強化を目指します。
17. 航空連、安全会議など産別組織とは、さらに効率的で合理的な連帯・共同活動を目指します。